

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	福岡女学院大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	フクオカジョウガクインダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	九州地方
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	福岡女学院大学短期大学部
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	九州地方
	大学等名2(連携大学等)学校種別	私立短期大学
	科目名	インターンシップ/Internship1・2/Business Internship1・2
	学部・研究科等名	人文学部 人間関係学部 国際キャリア学部 短期大学部英語科
	担当教職員名・役職	インターンシップ/キャリア開発教育センター(教員)Internship I・II / 櫻田陽一Business Internship I・II / 山口直彦
受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	155	
受入企業等数	74	
受入企業等名	NTTグループ 西日本シティ銀行 博多大丸 レイメイ藤井 第一生命保険 ベスト電器 三好不動産 JTB九州 福岡県庁 西鉄旅行 ALISAスクール 日本生命保険 フラウ カウテレビジョン 福岡空港ビルディング アシアナ航空 エイチ・アイ・エス 三菱東京モルガンスタンレー証券	
インターンシップの分類	3.海外インターンシップ 6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事務・接客・営業・企画等の業務について、各社・団体の担当者の下で担当している。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	大学2年次以降 短大1年次以降
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	大学2単位 短大1単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	九州インターンシップ推進協議会参画及び独自開拓による企業・団体で休業期間中に実施している。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	一部インターンシップは教員が引率して、適宜面談する等して適切に指導している。

	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	「インターンシップ参加のためのオリエンテーション・参加者事後報告会」「参加決定者説明会」「学内事前マナー指導」「九州インターンシップ推進協議会主催事前説明会」各1回の出席を義務付けている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	「インターンシップ参加のためのオリエンテーション・参加者事後報告会」に出席、発表を義務付けている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	一部インターンシップは教員が引率して、適宜面談する等して適切に指導している。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	4.その他
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	事後報告書を作成させ、評価の参考としている。
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事後報告書の作成により、学生の変容について確認、キャリア開発教育センター運営委員会の議題として、成績評価の参考としている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間は原則として最低5日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実施期間は原則として最低5日間。5日間以内の場合は単位を認定しない。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	九州インターンシップ推進協議会での協議を通じて、あるべきプログラムについての検討、意見交換を行っている。同協議会様式によって、インターンシップ先から毎日の日誌へのコメントと最終評価を行ってもらっている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://fukujo.ac.jp/university/
問い合わせ先	大学等名	福岡女学院大学
	担当部署名	キャリア開発教育センター
	担当者役職名	室長
	担当者氏名	吉松朋之
	電話番号	092-575-5974
	メールアドレス	career_dec1@fukujo.ac.jp